

諏訪市とウォータースタンド株式会社による プラスチックごみ削減と 脱炭素社会実現に係る連携協定締結式

2022年9月30日



CONTENTS

- ① 関係する環境課題
- ② 協定に至った経緯
- ③ 協定内容と取組



1 関係する環境問題

- 海洋プラスチックの増加
- 地球温暖化への影響
- プラスチック資源循環戦略

2つの環境問題

プラスチック
ごみ

地球温暖化

海洋プラスチックの増加



世界中で海へ流出するプラスチック量

年間約 **800万** トン

ニュース等でも注目されていますが、多くのプラスチックごみが海に流れ込んでいます。その量は世界中で800万トンにも上るとされており、2050年までに海では生物よりもプラスチック量の方が多くなってしまふ可能性もあります。

また、海に流れるプラスチックごみは、流れ込むまでに徐々に小さく、細かくなり、目視の難しい「マイクロプラスチック」となってしまいます。海洋生物がこれを捕食してしまうと、巡り巡って我々の口に…という健康問題にもつながってきます。

高原湖畔都市である諏訪市ですが、諏訪湖も海につながっています。私たちにも大いに関係ある問題です。



地球温暖化への影響



国内でのプラスチック製品製造等
化学分野による二酸化炭素排出量

年間約 **5,500万** トン

基本的にペットボトルは製造したら使用は1回です。この1回のために多くの二酸化炭素が排出されています。国内では年間230億本のペットボトルが生産されており、1本あたり119gとするとペットボトル製造により、274万トンの二酸化炭素が排出されていることとなります。

また、2020年における日本の二酸化炭素排出量約11億5,000万トンを部門別で分類すると、産業部門・工業プロセスは約3億5,600万トンと、全体の31.0%を占めています。この3億5,600万トンのうち、15.3%にあたる5,500万トンが、プラスチック製品製造等の化学分野からの排出になります。



※国立環境研究所資料参考

プラスチック資源循環戦略

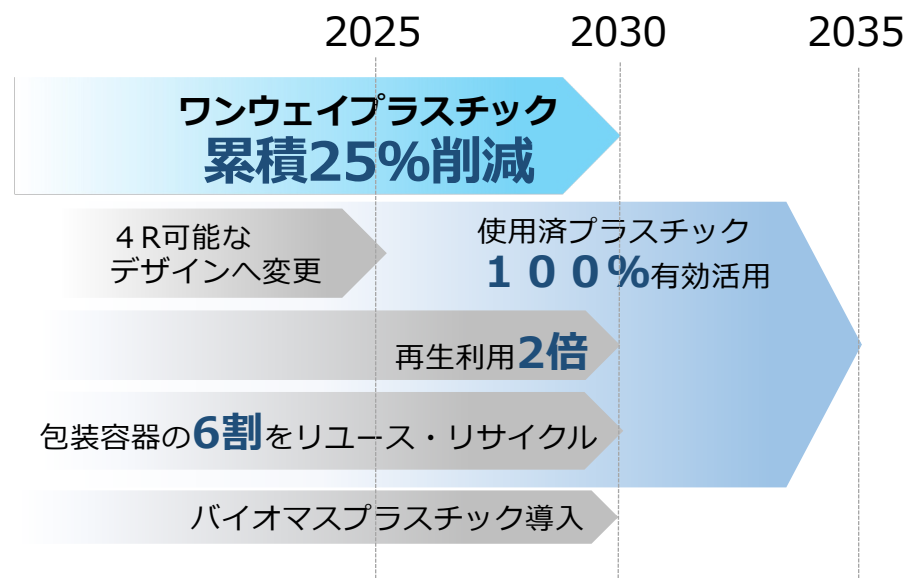


2030年までに使い捨てプラスチック

累積 **25%削減**

2021年4月22日に行われた地球温暖化対策推進本部では、2030年度に、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すと表明しました。それに先行する形で3月に閣議決定された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案」は、気候変動問題解決を視野に入れた内容で話題を呼びました。

政府は3R+Renewableを基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略「プラスチック資源循環戦略」を令和元年5月に策定し、2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制することをマイルストーンとしています。





2 協定に至った経緯

- 第三次諏訪市環境基本計画
- 諏訪市ゼロカーボンシティ宣言
- ウォータースタンド（株）について
- 2者の目的、目標の一致

第三次諏訪市環境基本計画

5 つの基本目標

- I **脱炭素社会**を実現しよう
- II 水と緑と生物多様性を大切にしよう
- III 安心して快適な暮らしを守ろう
- IV ごみを減らして**循環型社会**を実現しよう
- V みんなで学び行動しよう

諏訪市は令和4年3月に第三次諏訪市環境基本計画を策定しました。この計画では、望ましい環境像実現に向けた5つの基本目標を設定しています。その1番初めに、「脱炭素社会を実現しよう」が掲げ、これまでの環境基本計画を引き継ぎつつも、脱炭素社会実現に向けた意識を持ち、取り組みを進めていくこととしています。

他の4つの基本目標も結果的に脱炭素社会実現に寄与する目標となっており、同時に、プラスチックごみや海洋プラスチック削減につながります。

諏訪市ゼロカーボンシティ宣言



諏訪市ゼロカーボンシティ宣言 ～高原湖畔都市から脱炭素社会を目指す～

近年、世界各地で記録的な高温や大雨、大規模な森林火災や干ばつなど、地球温暖化が原因とみられる異常気象が頻発しており、これらは今や気候危機と言われています。長野県内においても、令和元年東日本台風による記録的な集中豪雨は、大規模な浸水被害をもたらし、諏訪市では、2021年8月に記録的な大雨により市内各所で浸水被害が発生しました。世界的にも稀有な定点観測記録を持つ、諏訪湖で冬期に出現する御神渡りも、近年では出現しない年が多くなり、578年の連続記録からも地球温暖化が証明されています。

2021年の国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）では、世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて1.5℃以内に抑え、2050年に温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた各国の削減目標を強化するよう求め、合意に至りました。我が国においても、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2021年10月には「2030年度において温室効果ガスを2013年度比で50%の削減という高みに向け、挑戦を続けていく」ことを新たな目標にして改訂された「地球温暖化対策計画」が閣議決定されました。

諏訪市は、日照時間が長く、諏訪湖や霧ヶ峰など美しい自然環境と豊富な水資源や温泉など多くの自然資源が存在します。これらを活用し、環境と調和した脱炭素社会を実現し、自然豊かな諏訪市を未来へ受け継ぐとともに、将来世代の生命を守るために、世界の皆さんと共に気候変動対策に取り組むことが私たちの責務だと考えます。

よって、ここに気候非常事態を深く認識するとともに、第三次諏訪市環境基本計画の発表に併せ、2050年までに諏訪市の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを宣言します。今後において、2030年度までに2010年度と比べて60%削減し、2050年実質ゼロを実現するため、市民・事業者・行政が一丸となり地域ぐるみでシナリオを描き次の取組を行います。

- 1 人びとの暮らしと調和し地域特性を活かした再生可能エネルギーの利活用と二酸化炭素吸収源となる緑を増やす取組を推進します。
- 2 省エネルギーへの転換と二酸化炭素排出量削減のためにライフスタイルの変革を推進します。
- 3 SDGsが掲げる持続可能な社会を目指し、気候変動の影響に備えたまちづくりを推進します。
- 4 循環型社会を実現するため、燃やすごみ量の削減と分別による可能な限りのごみの再資源化を推進します。

令和4（2022）年3月26日

長野県 諏訪市長

金子ゆかり

4 つの取組への決意を表明

- ◆再エネの利活用と緑化推進
- ◆ライフスタイルの変革
- ◆気候変動に備えたまちづくり
- ◆循環型社会の実現

令和4年3月に諏訪市は市民、事業者、行政が力を合わせて脱炭素社会実現に向けた取り組みを行う決意を「ゼロカーボンシティ宣言」として表明しました。

この宣言において示した4つの取組にも、脱炭素社会実現に向けたライフスタイル変革や循環型社会実現に向けた活動が含まれています。

協定の提案



ウォータースタンド株式会社

企業概要

WATER
STAND



商号	ウォータースタンド株式会社
設立	昭和44年 3月
本社所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-463
売上高	88億5,719万円 (R3.6月末)
従業員数	647名 (R3.6月末)
主要事業	ウォーターサーバーのレンタル事業

ウォータースタンド株式会社

WATER
STAND



◆ミッション（使命）

ウォータースタンドは未来の世代のためにより良い地球環境を引き継ぎます。

私たちは、2030年までに
日本の使い捨てプラスチックボトルを30億本減らします

◆ビジョン（目的）

ウォータースタンドはマイボトルを携帯する新しい文化を創り気候変動とプラスチックによる環境問題に取り組みます。

ウォータースタンド株式会社

自治体との連携

ウォータースタンドでは、2019年から地方自治体や大学とともに、様々な施設への給水スタンドの設置を開始しています。この取り組みは、地域や学内の皆様にマイボトル携行を呼び掛け、プラスチックボトルを削減し社会課題の解決につなげるものです。

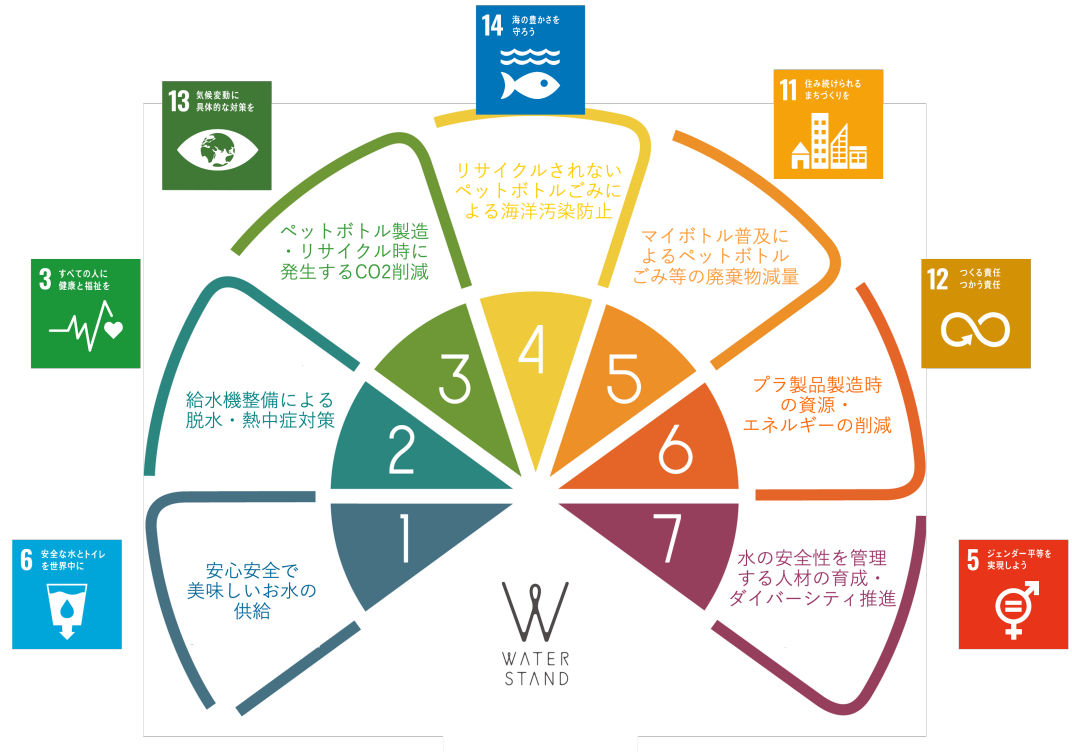


ウォータースタンド株式会社

SDGsへの取り組み

企業としてSDGsへの取り組みも必要不可欠です。水を事業として扱うウォータースタンド（株）は、給水を軸にSDGs達成へ寄与するという意志を持った企業です。

今回の協定は、SDGs達成にまた一歩近づくものになります。



2者の目的、目標の一致

脱炭素社会と循環型社会 実現

WATER
STAND



諏訪市が第三次諏訪市環境基本計画、諏訪市ゼロカーボンシティ宣言で示した目標や取り組みと、ウォータースタンド（株）のミッションとビジョンは、どちらも脱炭素社会と循環型社会を実現するものです。2者が協働することで、目的実現の加速化が期待できることから、今回の協定締結が実現しました。



3 協定内容と取組

- 協定内容
- 公共施設への給水スタンド設置
 - 設置する給水スタンド仕様
 - 導入する公共施設
 - デザイン
- 取組による効果
- 今後の展開

協定内容

- ▶▶▶ プラスチックごみ削減に関すること
- ▶▶▶ 脱炭素社会実現に向けた活動に関すること

この協定は、プラスチックごみの削減と脱炭素社会実現に向けた活動を推進する、目的や実行内容の明確なものとなっています。ウォータースタンド（株）はウォーターサーバーを取り扱う企業です。このウォーターサーバーの提供と活用が主な実施内容になります。

公共施設への給水スタンド設置



諏訪市の公共施設や関係施設に給水スタンドを設置します。水道直結式の常温水を給水するタイプであり、マイボトルを持参すれば使用が可能です。
設置後もウォータースタンド（株）による定期的なメンテナンスが実施されます。

主な仕様等

- 給水方法 : 水道直結常温給水タイプ
フィルター内蔵式
- 電源 : 不要
- サイズ : 幅40cm×奥行60cm×高さ180cm
※設置BOXの大きさ
- 特徴 : 抽出口が2種類あり、衛生的にマイボトルへ給水しやすい設計。
フィルターは、ミネラル等成分はそのままに、ウイルスやバクテリアなどの有害物質や臭いを除去可能。

公共施設への給水スタンド設置

デザイン

マイボトルへの無料給水が可能ということがわかるシンプルなデザインを基本とし、側面には設置に際しての諏訪市からのメッセージパネルを設置します。



高原湖畔都市から脱炭素、海洋プラスチック削減へ 給水スポットを設置しました

脱炭素社会実現に向けて

諏訪市は令和4年3月、脱炭素社会実現に向けた決意を「諏訪市ゼロカーボンシティ宣言」で表明しました。

脱炭素社会は行政だけではなく、市民、事業者を含めた多くの方の取り組みにより実現されるものです。

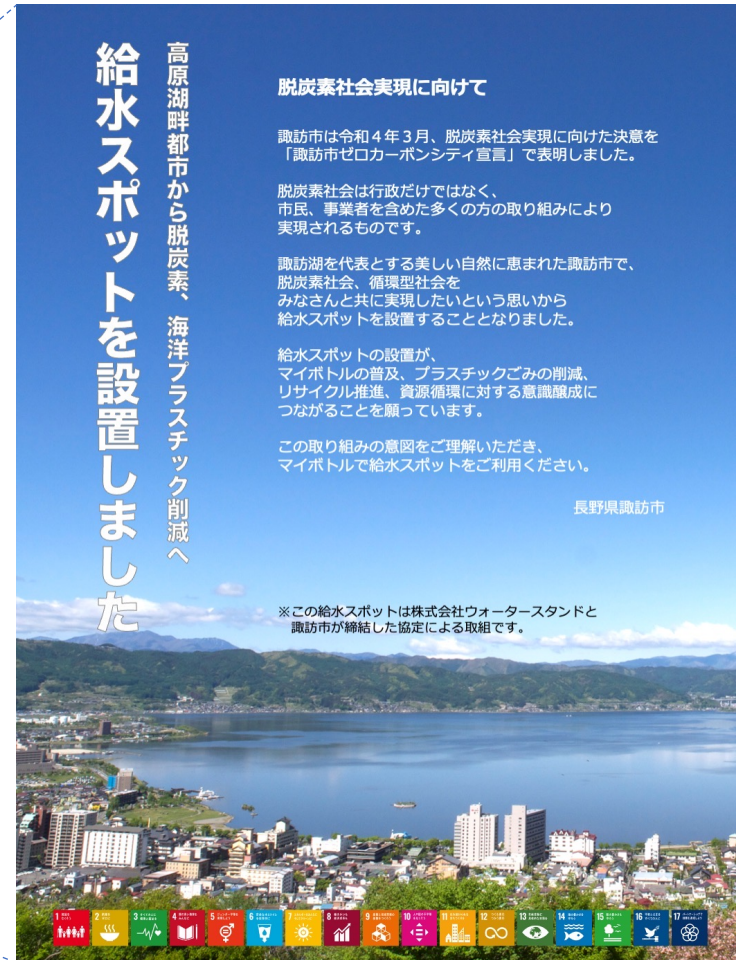
諏訪湖を代表とする美しい自然に恵まれた諏訪市で、脱炭素社会、循環型社会をみなさんと共に実現したいという思いから給水スポットを設置することとなりました。

給水スポットの設置が、マイボトルの普及、プラスチックごみの削減、リサイクル推進、資源循環に対する意識醸成につながることを願っています。

この取り組みの意図をご理解いただき、マイボトルで給水スポットをご利用ください。

長野県諏訪市

※この給水スポットは株式会社ウォータースタンドと諏訪市が締結した協定による取組です。



公共施設への給水スタンド設置

当初設置場所

9月30日時点で市内3施設に給水スタンドを設置しています。

諏訪市役所、すわっチャオについては諏訪市の公共施設ですが、霧ヶ峰自然保護センターについては、市の所有施設ではないものの公共的な施設であり、ゼロカーボンシティ宣言に賛同いただいている諏訪観光協会との協働した取組の一環として設置が実現しました。

今後も追加設置箇所について引き続き検討、調整していきます。

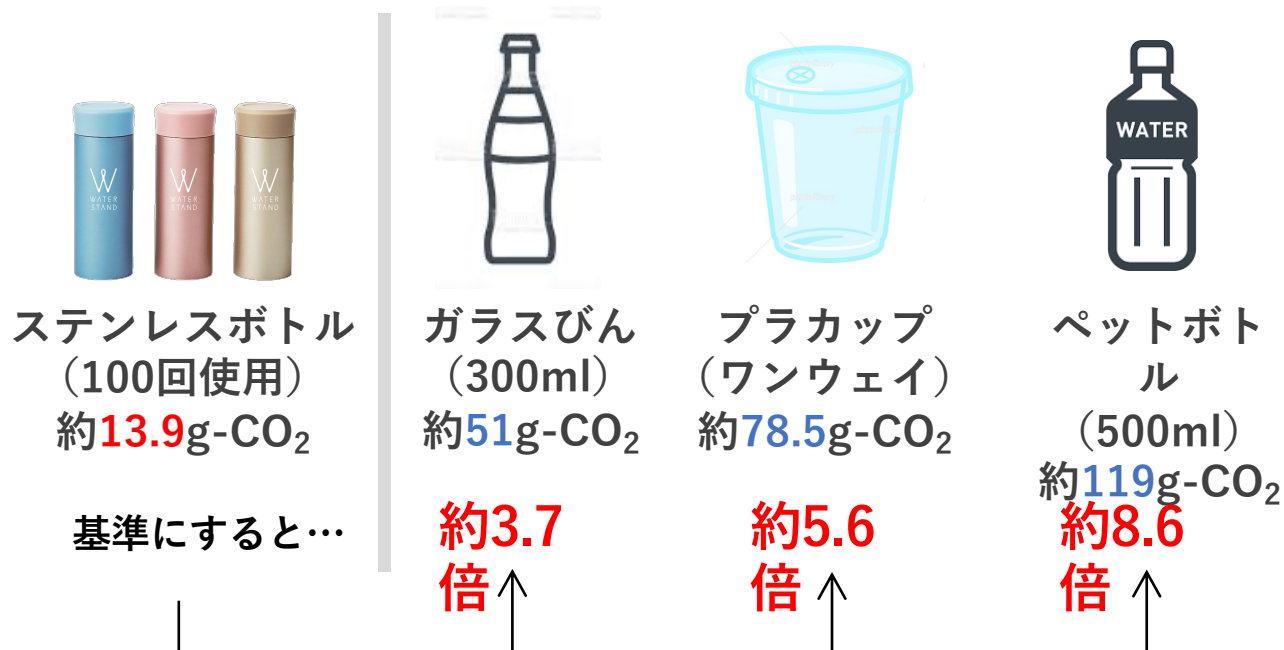


取組による効果①

CO₂排出量、 使い捨てプラスチック削減

マイボトルが普及することによりプラスチックの「ワンウェイ利用」削減が実現されます。また、この活動の意味が普及することで、プラスチックを含めたごみの適正処理につながり、自然環境の保全も実現されます。

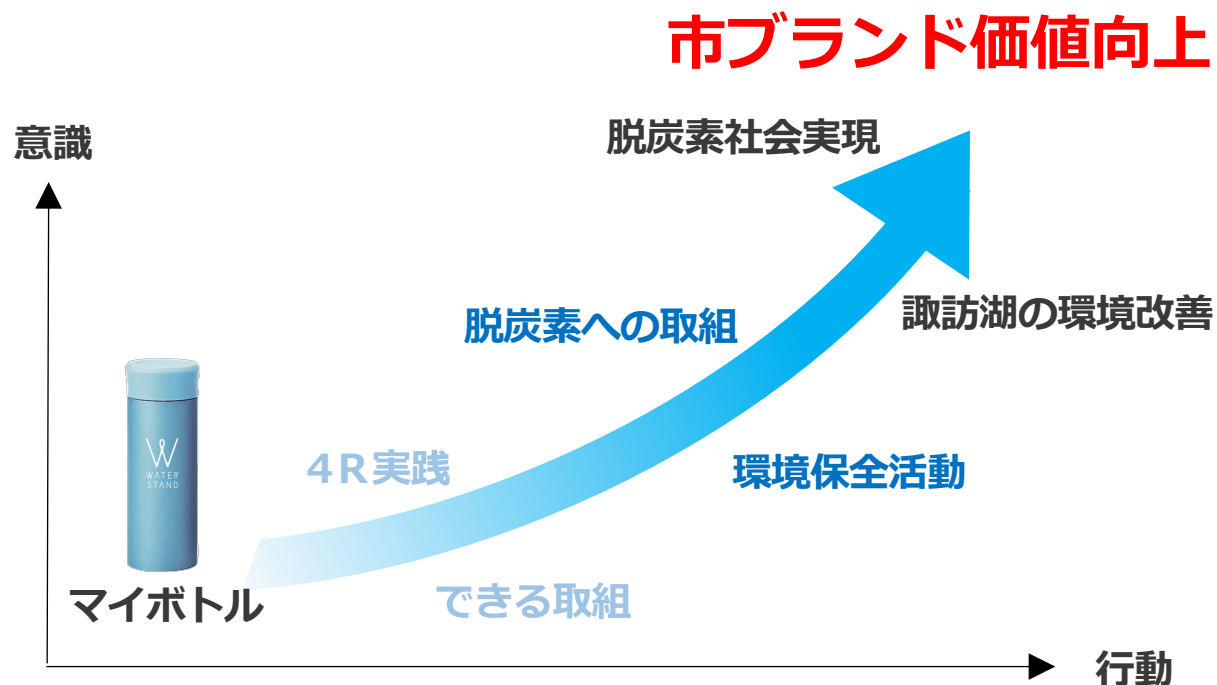
給水スポットの設置～マイボトル推進により、プラスチックボトルの利用を減少させることが、石油使用、輸送によるCO₂削減につながりますが、この取組は環境に対する意識醸成も視野に入れています。市民、事業者、行政、そして訪れる観光客やビジネス客、全ての関係者の意識が向上することで、自然環境の保全にもつながります。



取組による効果②

意識醸成による環境保全と 魅力や価値の向上

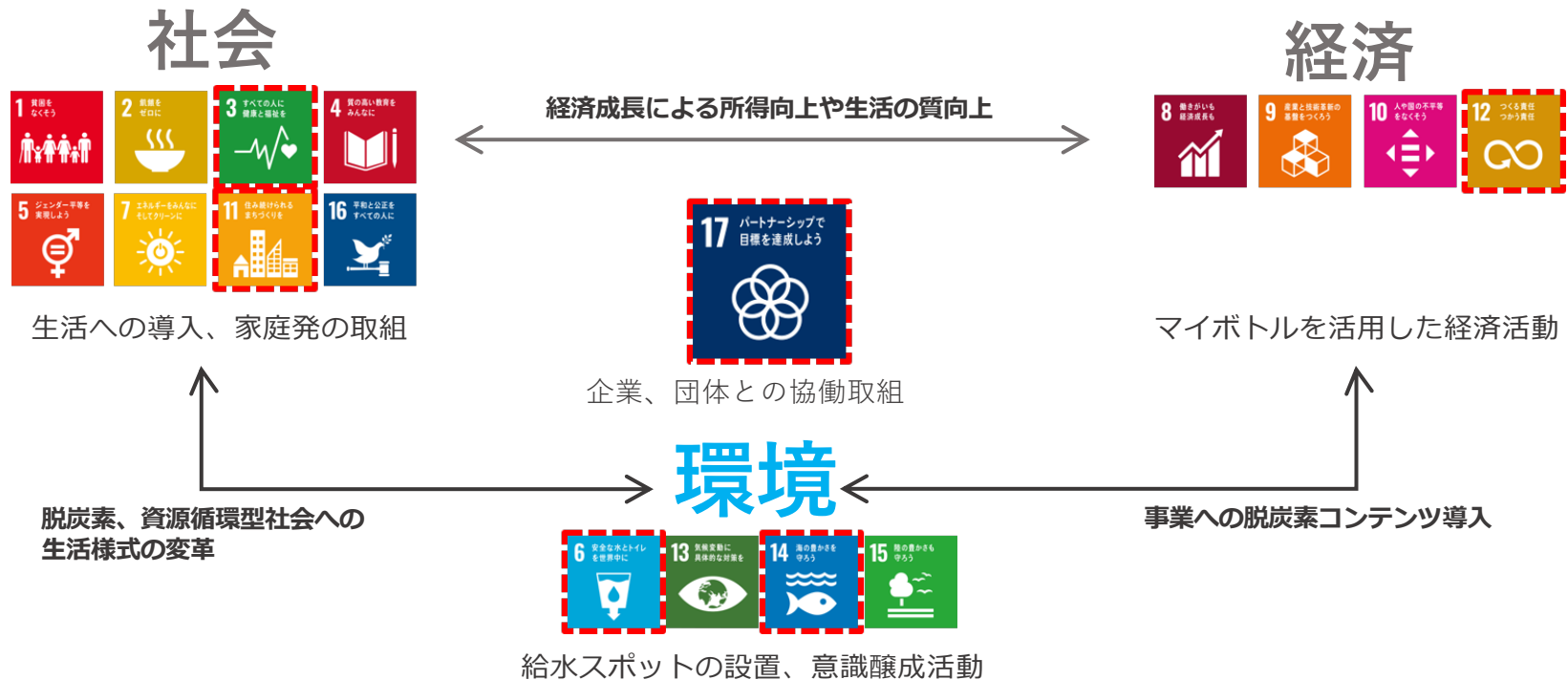
取組により関係者の意識が醸成されることで、広く環境保全が実現されます。現在はプラスチックを中心に多くのごみが浮遊、散乱している諏訪湖ですが、マイボトルの推進による意識醸成により、きれいな諏訪湖、泳ぎたい諏訪湖、海洋プラスチックを無くすという取組につながっていきます。



取組による効果③

広い分野への相乗効果

マイボトルを推進することが、環境保全に留まらない価値を生み出す。社会、経済に対する好循環が生まれるきっかけとなる可能性があります。各分野の担い手との連動による次なる展開に期待が持てる活動となります。



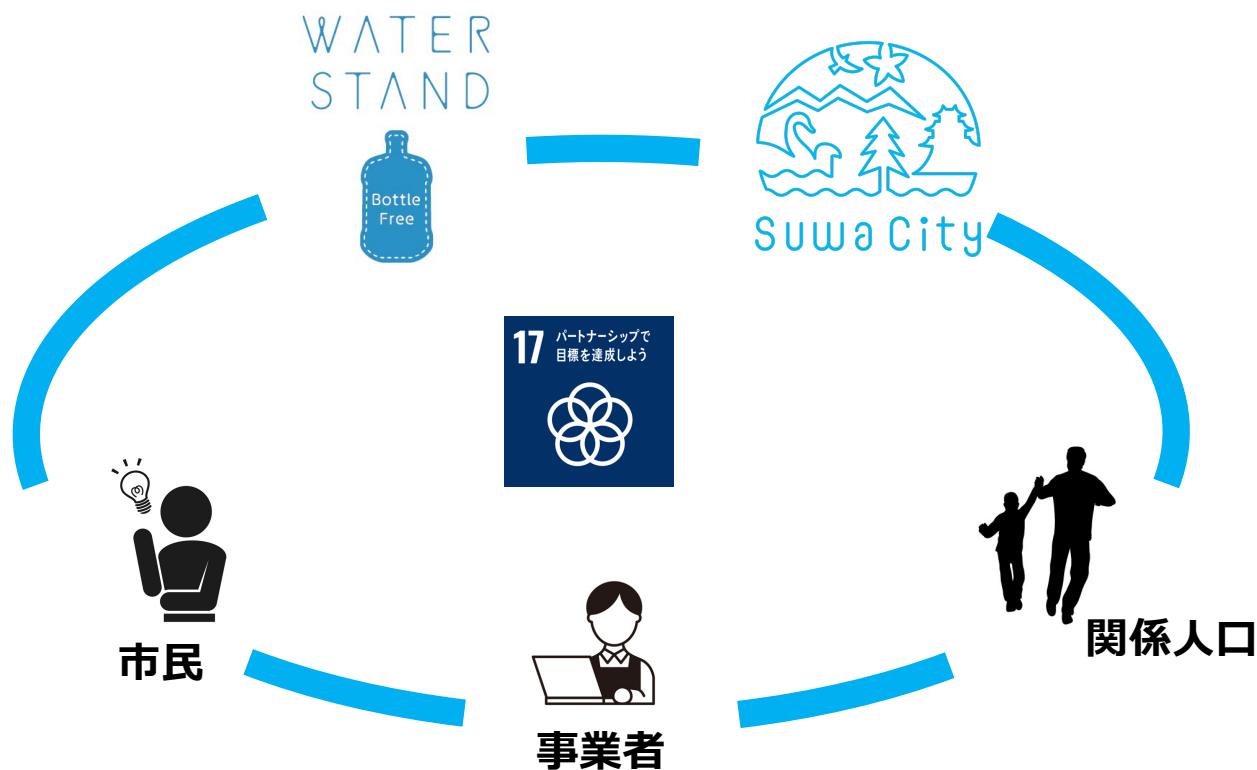
今後の展望


連携による循環型社会、 脱炭素社会実現

脱炭素社会、循環型社会実現は行政だけでは実現することはできません。多くの関係者が力を合わせることで実現します。

今回、この取り組みは諏訪市とウォータースタンド株式会社との協定がきっかけとなりますが、諏訪観光協会といった団体、事業者の協力もいただいています。

関係する全ての方の力を合わせ、諏訪市ゼロカーボンシティ実現に向けて歩んでいきます。





諏訪市とウォータースタンド株式会社による プラスチックごみ削減と 脱炭素社会実現に係る連携協定締結式

2022年9月30日